

はたらく女性のフロア通信

発行日:2021年3月25日

NO. 46号



はたらく女性のフロアかながわ (WWFK)

〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町8-25-203 本間重子気付

電話/FAX 045(323)0653 E-mail wwfk@hotmail.co.jp

第5次男女共同参画計画

「第2分野 雇用等における男女共同参画の推進と仕事と生活の調和」を考える

男女共同参画基本法は、1999年に施行された。法は、国、地方自治体に対して基本法に基づくあらゆる分野の女性の参画をすすめる男女共同参画社会の形成の促進を図ることを重要課題と位置づけ「男女共同参画計画」の策定を義務付けている。2020年12月25日、第5次基本計画が公表された。副題に「すべての女性が輝く令和の社会へ」が付いている。

ここでは、主に第2分野の雇用等における男女共同参画の推進と仕事と生活の調和の分野について基本認識を中心に考えてみたい。2015年に策定した第4次計画では、第3分野に地位づけていた。第1分野に「男性中心型労働慣行等の変革と女性の活躍」があったが、今回はない。基本姿勢を示す「現状認識」では、女性活躍推進法や働き方改革関連法に基づく企業の取組み、保育の受け皿整備、両立支援等、官民の積極的な取組みによりM字カーブ問題は解消に向かっている、第一子出産前後の就業継続率は5割りを超えた、としている。果たして実態を反映しているのか、政府統計からの分析では不十分ではないか。また、海外に目を転じるとの前書きで「グローバルな人材獲得競争が激化、ESG(Environment(環境)、Social(社会)、Governance(ガバナンス))投資の進展に見られるように企業の男女共同参画の取組が投資家から注目されている中…」とわが国の企業が国内外の人材や投資家から選ばれるためにも極めて重要として、企業の評価を投資の目的に転嫁している。

さらに、育児や介護等を理由に就業を希望しながら求職していない女性が213万人存在している、就業を希望していない女性も少なくない、このような女性の潜在能力を活かせないことを「大きな損失」としている。

計画のめざす方向は、どうなっているか。基本としてワーク・ライフ・バランスが重要、男性の家事、子育て、介護等へ共に担う環境が重要とする第4次計画と変わらない基本姿勢だ。では具体的な施策はどうか。①セクハラを含めた性別を理由とした差別的取り扱いの禁止 ②積極的措置(ポジティブアクション)で女性参画を推進 ③正規と非正規の不合理的な待遇の改善、正規への転換に向けた取組みとして同一企業内での正規への転換を図る ④同一価値労働

同一賃金に向けた取組みを通じて女性の経済的自立を図る ⑤人生100年時代、多様な働き方をより安心して選択できる環境の整備、雇用に寄らない働き方の拡大と必要な保護 ⑥新型コロナ感染症拡大でテレワークの導入やオンラインの活用がすすんだ。(時間を有効に活用でき、場所の制約を受けない)多様で柔軟な働き方に関する新たな可能性もたらされ、テレワークの活用を全国的に促進することによりワーク・ライフ・バランスと生産性向上に資する。

第2分野を大雑把に概観すると、一つ目には一部の労働力不足の業種、いわゆるエッセンシャルワークや建設業、海運業、自動車運送業、観光分野への「女性活用」と労働力移動政策が垣間見えること、二つ目には低い年金額と女性の長寿化で可能な限り労働市場へ女性を呼び戻したいとする政府・財界の意向が明確になっている(息の長い現役生活を送る)三つ目に女性の「活躍」を投資家目線にした新自由主義的な考え方が色濃く出されていること。

最も問題にすべきことは、第4次計画についての総括がきちんとされていないこと。そのうえでの第5次計画では、これから5年の目標が明確に示されないのは当然といえる。第5次計画で気になることは、⑤と⑥の基本方針だ。新たな労働力移動を政府・財界がねらっていることだ。雇用に寄らない働き方を推進するため、これまでの労働法制の規制緩和をすすめてきた。その象徴が兼業・副業の容認ではないか。これからの雇用のあり方を考えるとき、労働基準法の強化など労働者保護、労働組合のあり方、社会保障制度や税制など全ての分野から課題を追及することが求められていると感じた。

ジェンダー平等実現の究極は、すべて人が人として生きることができる社会であり、格差と貧困、戦争の無い世界だと…まだまだ道遠し。当面は、第5次基本計画に対する要求をまとめ、政府に改善を求めていくことだ。(伍 淑子 会員)

満開のミモザ青空染めにけり
年をへてなほ美しき雛かな
松尾佐知子

君嶋ちか子がゆく②

…神奈川県議会報告

人権男女共同参画課が組織図から消える？

神奈川県福祉こども未来局には「総務室」「子どもみらい部」とともに局直轄で「共生社会推進課」と「人権男女共同参画課」がありました。4月から、この二つの課を統合し、「共生推進本部室」に改編するという発表がありました。

当局にこの改編の意図を聞くと、「部門を大きくすることにより、機動的な対応を可能としたい。従来の業務は引き継ぐ」との説明。

「では、なぜこの名称なのか」と問うと、「共生社会を位置づけ、意思決定支援、利用者支援内容の改善などを充実させていく」と晴れ晴れと。これらは、障がい者支援の見直しの中で使われてきた言葉であり、人権や男女共同参画は殆ど念中にないと思わせるような展開でした。

「人権男女共同参画事業の位置づけは？」と問うと、「共生の中には男性も女性も含まれている」と。

行政としての見識が問われる

この数年とりわけ女性に関わる暴力や差別、生



活困難などが深刻になっている中で、「人権男女共同参画」の言葉を「共生」で一括りにしようとするなど完全に情勢の見誤りです。行政としての見識が問われます。「名は体を表す」といいます。とりわけ、行政

の姿勢は組織に反映されます。

議会の決定事項ではありませんが、この改編に対し、厚生常任委員会最終日には、共産党と立憲民主・民権クラブが「庁内のイニシアチブをとる部署として名称を無くすべきではない」「人権と男女共同参画の名称が消えるのは、世の流れと逆行」とそれぞれ質しました。

当会も参加する「人権男女共同参画課の名称はすしを許さない連絡会」は、知事あて要望書を提出しました。

1982年の「婦人企画室」以来、99年に現在の名称に至りましたが、40年近くを経て、森発言で露呈された日本社会の遅れが改めて問われているこの時期に名を消すというブラックジョーク、笑えません。

神奈川県の認識を正し、かつ女性や性的少数者が生き生きと暮らせる社会を促進させる取り組みが、今必要です。

コロナ禍の自粛生活

白井 洸子（会員）

外出できない、藤沢から出られない。友人たちとワイワイ言いながら食事をしたい。みんなダメ！ひどいコロナめ!!そして、ひどい政府の無策!!。

看護師の知り合いは、ベットを増やせといっても、お金を出さないのだから…去年から言われているように、コロナ専門の病院を作ればいいのにと。時々、〇〇店の食事券とかの差し入れがあるけれど、そんなものより、きちんと手を打って欲しいと言ってます。医療生協の活動の中心である月2回の「食事会」は、コロナでダメになり、もう1年になります。

そんな中、医療生協の支部ニュースは、ニュースぐらい出さないと、みんなにつながれないとの思いから、毎月出し続けています（私が係）。月に1回の編集会議は4、5人で集まり、マスクをし、マイボトルを持参でやっています。

今までは、毎月の「食事会」が中心でしたが、できないので、いろいろ工夫して、みんなのくらしや、本の紹介や、クイ

ズなども入れて、つくっています。

ニュースは500部ぐらい印刷し、医療生協本部の新聞とあわせて、役員が仕分けをし、組合員に配布しています。この仕分け会は、終わった後、お茶とお菓子でおしゃべりが楽しみでしたが、今はできない、なるべく短時間で終えています。

もちろん、月に1回の運営委員会もさっと終わらせています。本当に、コロナのおかげで、医療生協の活動が思うようにできません。早く終わって欲しい、検査をして、ワクチンを打って、オリンピックなんてやらなくていいから…

私は、ひょんなことから始めた川柳（市の公民館）、毎月、課題が3題でて、それに2首ずつ合計6首川柳を作ります。自分の思いを17字にこめ、クスリと笑わせる、なかなか難しい、月1回の例会で、みなで合評しあい講師のひと言がまた面白い、脳トレと思って頑張っています。

今は、公民館が使えないので、集まらない。パソコンと郵送でやっています。早く一堂に会して皆で話したいものです。

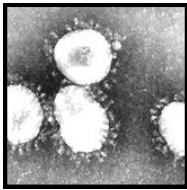
私の駄作です。

- ☆仕事では女らしさがじゃまになり
- ☆ポテサラを作る気がせず買ってくる
- ☆海老鯛をねらいひそかにお菓子折り
- ☆断捨離の手を止めさせる旅土産



PCR検査を受けて

中嶋ひとみ(会員)



新型コロナウイルス(以下コロナ)の感染が広がり、1年以上が経ちました。この間、私が勤めている介護老人保健施設では、面会の禁止や体温測定、マスク着用、換気、アルコールによる手指消毒、食事時の会話の禁止、受診などで施設外に出た場合は、3日間他の入所者と離れた席で過ごすなどの対応がとられました。しかし、ひとたび職員が感染し、無症状のうちに入所者に関わっていたら、この程度の対策ではひとたまりもなく、次から次へと肺炎にかかり、手の施しようもない事態に陥るだろうと不安を抱えながら仕事に。PCR検査を無料で受けられる(横浜市負担)と、職員全員が2月24日から2週間毎に3回のPCR検査を受けました。その方法を紹介します。

東亜産業が販売するコロナPCR検査の唾液採取用検査キット(唾液を口元に当てて採取する小さな漏斗、唾液を入れる容器、その蓋、保存液、料金受取人払郵便の返信用封筒、ナンバリングシール、説明書、申込書)が職員に配布されました。

注意点は、①唾液採取前は最低1時間は飲食、喫煙、うがい、歯磨きをしない②発熱等の症状がある人、濃厚接触者またはその疑いがある人は検査対象外。③消化酵素によって、感度が低下する場合があります。

3・8国際女性デー神奈川県集会 オンラインで開催

佐久間由美子(会員)

3月8日、国際女性デー神奈川県集会がオンラインで開催され、5か所のサテライト会場も含め、約300人が視聴しました。

主催者を代表して実行委員長の湯山薫弁護士が「男女共同参画とは、男性の物差しに合わせるのではなく、女性の参画で新しい物差しを作りましょう」とあいさつしました。

参加団体のリレートークでは14団体がビデオで参加。性暴力への抗議のフラワーデモのとりくみやコロナ下での雇用支援活動、高齢女性の低年金問題(伍淑子会員)、農家女性のジェンダー平等問題(小島八重子会員)などを訴えました。

記念講演では、同志社大学教授の岡野八代さんが「ケアと民主主義 女性たちが『黙らされている』ことの意味を考える」と題して話しました。

「コロナパンデミックで、今までの社会のありようが露呈した。資本主義社会の中で女性が果たしてきた役割を見直す必要がある。ケアするのは

る。マウスウォッシュ、のどあめ、のどスプレー、ガム、歯磨き粉には殺菌作用のある塩化セチルピリジニウムが含まれているものがあり、正しく検査ができない可能性がある。④唾液は無理に出さず、自然に少しずつ出す(1~2ml採取するのに、15分かかった)。⑤採取した唾液は採取後、速やかに東亜産業PCR総合検査センターに郵送(事務方が一括で郵送)。唾液採取から返送までに時間が空いてしまう場合は、発送直前まで冷蔵保存。⑥結果通知までの期間は、唾液採取検査キット到着後、最短3時間。指定のメールアドレス、郵送で結果通知。⑦検査通知から推測できるのは「提出した唾液の中に、コロナが存在するかどうか」のみであること。PCR検査の特性として、一定確率で検体にウイルスが存在したとしても、存在しない状態を示したり、逆に、検体にウイルスが存在しなかったとしても存在する状態を示す場合もあるので、唾液中にコロナが存在する事を示すような検査状況と通知されても、コロナに感染しているかどうか等の判断はできないので地域の保健所に相談するように、と。

PCR検査2回目までの結果では全員陰性。「良かった」「安心して仕事に行ける!」と、職員一同ホッとしました。しかし、注意書の⑦をよく読むと、検査状況は、高リスク/低リスクという報告のみで、コロナに感染しているかどうかの判断の目安でしかないこと。この検査を受けても、安心はできないということです。せめて、PCR検査は、高齢者の施設職員だけでなく、住民全員が定期的に受けられる体制が欲しいなと感じました。

誰か。学校の授業時間と労働者の時間割がずれているから、学校から子どもが帰ってきてもケアする人がいない。日本では本当に重要なことにお金を使わない。医療・保健・教育などの公的支出の1位はノルウェーで、日本は問題外。森発言は、女が口出しするな、女は黙っとれ、女は能力がない、女は判断ができない、と。でも女性は家族が何を必要としているかを常に考えている。家族への思いやりを忘れず、いろいろ同時に考えている。コロナで困窮に拍車がかかって、疲弊しながら頑張ってきたのに傷口に塩と同じ。ケアを必要としている人、声を上げられない人に対する冒とくだ。ケアを押し付けるのではなくよりよいケア関係を維持するために政治と社会が、何ができるかを考えることが大切」と語りました。

前日の7日、実行委員会による宣伝行動が、JR桜木町駅前で満開のミモザの枝を持って行なわれ、30人が参加し、国際女性デーをアピールしました。

映画が好き
**「MISS ミス・フランスに
 なりたい！」**
池田 資子(会員)



ミス・コンテストというと、ジェンダー平等の現代では、差別の根源のように思われているかもしれない。見た目の美しさだけで女性

の価値を決めるのであれば、確かにジェンダー視点を欠いていると思う。

ミス・フランスになりたいとコンテストに挑戦したアレックスは、体は男性だが、自分では男でも女でもないと思っている。美しく、自分探しに悩んでいる。

子どもの頃学校で「将来の夢」を聞かれて、ミス・フランスになりたいと発表した。男になれる訳

はないと級友達に笑われた。夢に男女は関係ない。誰でも平等ではなかったのか。アレックスが「アレクサンドラ」に変身していく課程は大変興味深い。「24時間コルセットを着ける」「靴は12センチのヒール」つけまつけ、谷間の作り方などなど。友人のボクサーからは精神面を鍛えるアドバイスを受けて努力する。そして、日々変化していく。アレックスはミス・フランスになれるのか。

一方、コンテストの運営に関して、考えが衝突している点はまさに現代の問題と言える。見た目だけではない人間性の要求をする女性デレクターのアマンドと従来通りの水着姿や、笑顔の女性像を求める男性側。アマンドがアレックスに期待しているものが、初めはよく分からないが、段々と理解出来てくる。自分の価値は他人が決めるのではない。本当の自分に気づく時、美しさもまた本物になるということではないだろうか。

主人公を演じる俳優はユニセックスモデルとして活躍している。まさに現実と重なる役を演じている。その美しさを見ていただきたい。内面的に成長することで美しさは一段と輝く。彼を取り巻く多様なアパートの住人たちも現代を表している。多様な考え方、多様な人生。それらを受け入れ、当たり前になる日が来ることを期待したい。

独り言
本間 重子(会員)

近頃テレビをみるが多くなったので、視聴するたびに気になる言葉がある。とくにスポーツ選手などが口にして、「人々に感動を与える」という言葉。

私は、与える与えられるという言葉の中には「上」の者から「下」の者へ物をやるとか何かをしてやることなどが含まれていると思うので、例えばスポーツの選手などが「自分が勝利することによって皆に感動を与えたい」などというのをきくと、どうも抵抗を感じてしまう。感動するかどうかはそれぞれの人の感性（感じ方）の問題で、なにも誰かから与えられる問題ではないと思うので、「あなたから高い立場から与えてもらわなくても結構よ」と言いたくなってしまふ。素直でない人間なのだとは思ふが・・・

確かにスポーツや音楽・演劇をはじめさまざまな表現や活動に心を動かされたことを共有できた

時には素晴らしいことに違いないし、そこから生きる力を享受することも人間としての証かとも思う。

謙虚に闘い、真摯に演じる等々そのことが人々の心を打った時、感動を共有し広がり、涙が流れたり、新たな力を感じられたりするのではないだろうか。

もう一つ気になる言葉は、「恩返し」。“受けた”、“世話になった”、“施された”等々、受けた恩に対するお礼の気持ちは人間として当然というが、本当に当然なのか。もしかしたらそれは当然の権利であったかもしれない？私たちは謙虚で控えめな人が多い国民なので、国民の権利と言われても恩着せがましく言われると弱い。だから善意で恩を感じてしまうようなところはないだろうか。「恩返し」という美しい言葉も安易に使いたくない。



WWFK公開学習会

労働分野のジェンダー平等の現在 - コロナ禍後の女性労働のゆくえ -

とき:5月22日(土)13:30~16:00 ところ:かながわ労働プラザ

プログラム:浅倉 むつ子さん(早稲田大学名誉教授・東京都立大学名誉教授)

参加費
500円
学生無料